



もうすぐ春



緊急事態宣言の中、2月が終わろうとしています。幸い、本校は現在、心配な状況ではありませんが、油断することなく、この後も感染予防に努めていきたいと思います。私立高校入試、公立高校前期選抜検査が終了しました。志願者が無事に受験（検）できたことに安堵しています。3月の公立高校中期選抜検査に向けてラストスパートとなっています。受検する3年生は精一杯頑張ってほしいと思います。

今年度も残り1ヶ月となりました。1年前の3月は突然の臨時休校のために、送る会が中止となり、卒業式は大幅縮小となりました。今年度も規模は縮小となります。心のこもった温かい行事にするためにしっかり準備をしています。いい船出ができる3月になることを願っています。

コロナによって学んだことは、人とのつながりの大切さです。学級・学年・部活の仲間、家族、先生等々、たくさんの人とつながることによって人は生きています。最終月はこのつながりを再確認し、感謝し、次に活かす準備の時間にしてください。大変な時間を過ごした経験は、しなやかな強さと人を尊敬する心を与えてくれます。もうすぐ春です。この経験を乗り超えた努力によって、将来の力となる美しい花を咲かせてください。

学校保健委員会開催

2月19日、学校医（内科医・眼科医・耳鼻咽喉科医）4名、学校歯科医、学校薬剤師、PTA代表が参加しての学校保健委員会を開催いたしました。コロナの影響で今年度の定期検診は時期がずれ込みましたが、本校生徒の健康状態については、概ね大きな課題はないようです。ただ、虫歯は減っているが、口腔衛生については注意が必要だとご指摘がありました。また、校内の空気環境等は良好で、しっかり換気ができていると評価していただきました。会の最後にはワクチン接種も始まるので、学校・家庭で大人がしっかり感染予防をしていきましょうと締めくくりました。

下京中学校 美術部展 開催

美術部は、今年度の「京都市立中学校美術部展」に作品を出品する予定でしたが、今年度はコロナの影響で、中止となってしまいました。代替展覽会として、美術部員たちが出品に向けて制作した作品を「下京中学校、美術部展」として、地下1階の掲示板を使って学校独自の美術展を開催しています。創造力溢れる作品が並び、artな空間ができます。



ピンクシャツでいじめ問題を考える

2月24日はピンクシャツデーでした。ピンクシャツデーとは、「いじめ反対」の意思表示をする日です。発端は、カナダの中学生3年生の男子生徒がピンクのシャツを着ていたことによりいじめられ、その友達が75枚のピンク色のシャツを購入し仲間に配り、みんなで着ていじめ反対の意思表示をしたそうです。1・2年生は定期テストの初日でしたが教職員の一部ではありますが、ピンクのシャツを着て、いじめ反対についての意思表示を行い、いじめのない学校づくりを呼びかけました。学校を取り巻く大きな課題の一つにいじめ問題があります。違いを認め合い共に高め合える、安全で安心できる学校でありたいと思います。

